

令和4年度（第2回）災害復旧技術講習会

- 近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発する中、被災市町村における災害復旧事業においては、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務に限られた職員に求められており、多大な労力や負担が強いられています。九州地域づくり協会では、平成29年九州北部豪雨災害において被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携し、災害復旧の支援活動を行って参りました。
- この実績をもとに、市町村職員の災害対応能力の向上に資するため、災害復旧事業を基礎から学ぶ機会として、令和5年1月27日（金）「令和4年度（第2回）災害復旧技術講習会」を開催致しました。今回は、幅広い分野で活躍されている各講師より、改良復旧事業や採択のポイント、査定事例や留意事項、TEC-FORCEやDXなどの最新情報の紹介等、令和4年6月開催の第1回目より、更に具体的で実践的に役立つ講演をいただきました。
- 当日は、災害復旧事業に従事する九州7県の市町村職員や技術者等の約140名（会場30名、Web110名）が受講し、「引き続き、この講習会を継続してもらいたい」「技術的な知識についてさらに深いところも聞いてみたい」など、今後の講習内容への要望や、継続的な開催を望む声を多数いただき、大変有意義な講習会となりました。

【主催者挨拶】



九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎



後藤 信孝 氏



原田 隆二 氏



田畑 浩規 氏



久留 省二

カリキュラム

「公共土木施設災害復旧の基本事項について」

災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏

「災害査定の留意点について」

国土交通省 水管理・国土保全局 災害査定官 原田 隆二 氏

「TEC-FORCE、災害査定でのDXの取り組み等について」

九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 田畑 浩規 氏

「被災市町村への支援事例について」

（一社）九州地域づくり協会 技術部長 久留 省二



会場の様子